

◆執筆者紹介（執筆順、*印は編者）

*松井 康浩（まつい やすひろ）

九州大学大学院比較社会文化研究院教授 「はしがき」、序章担当

主要業績 『20世紀ロシア史と日露関係の展望』（2010）編著，九州大学出版会

白川 俊介（しらかわ しゅんすけ）

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程，日本学術振興会特別研究員 第1章担当

主要業績 「分断された社会における社会的連帯をめぐる—考察—リベラル・ナショナリズム論を手がかりに」（2010）『政治思想研究』10号，風行社

千知岩正継（ちちいわ まさつぐ）

北九州市立大学国際環境工学部非常勤講師 第2章担当

主要業績 「『保護する責任』の意義と課題—正当性と権威の概念を手がかりに」（2008）『社会と倫理』（南山大学社会倫理研究所）22号

大庭 弘継（おおば ひろつぐ）

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程 第3章担当

主要業績 「ルワンダ・ジェノサイドにおける責任のアポリア—現場指揮官の責任と『国際社会の責任』の課題」（2009）『政治研究』（九州大学政治研究会）56号

佐藤 秀信（さとう ひでのぶ）

大分県立碩信高等学校教諭，九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程 第4章担当

主要業績 「山下泰文裁判にみるアメリカの政策意図—統合参謀本部指令62612号と11, 12指令」（2008）『軍事史学』（軍事史学会）44巻3号，錦正社

池上 大祐（いけがみ だいすけ）

福岡大学人文学部ポストドクター 第5章担当

主要業績 「第二次世界大戦期におけるアメリカ国務省の国際信託統治構想—「独立」と「自治」をめぐる言説分析」（2008）『歴史評論』693号

川上 耕平（かわかみ こうへい）

宮崎公立大学他非常勤講師 第6章担当

主要業績 「冷戦とプロパガンダ」（2008）『西洋史学論集』46号

笥 雅貴（かけひ まさき）

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程 第7章担当

主要業績 「ケネディ政権前半のアジア太平洋における秩序形成—ジョージ・W・ブッシュを手がかりにして」（2004）『東アジア研究』（東アジア学会）7号

北 美幸（きた みゆき）

北九州市立大学外国語学部准教授 第8章担当

主要業績 「半開きの＜黄金の扉＞—アメリカ・ユダヤ人と高等教育」（2009）法政大学出版局

江口布由子 (えぐち ふゆこ)

佐賀大学他非常勤講師 第9章担当

主要業績 「第一次大戦期のオーストリアにおける国家と子ども——「父のいない社会」の児童福祉」(2006)『歴史学研究』816号

鄭 敬娥 (じょん きょんあ)

大分大学教育福祉科学部准教授 第10章担当

主要業績 「地域主義と国際関係論——グローバル化における地域の生成と再編」(2007) 高田和夫編『新時代の国際関係論』法律文化社

徐 澍 (じょ とう)

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程, 北九州市立大学非常勤講師 第11章担当

主要業績 「グローバル化時代のリージョナル・ガバナンス——東アジアにおける新地域主義の展開」(2008)『東アジア研究』(東アジア学会) 9号

佐藤 圭史 (さとう けいじ)

日本学術振興会特別研究員, 北海道大学スラブ研究センター 第12章担当

主要業績 "Mobilization of Non-titular Ethnicities during the Last Years of the Soviet Union: Gagauzia, Transnistria, and the Lithuanian Poles" (2009) *Acta Slavica Iaponica*, Tomus 26

藤井 大輔 (ふじい だいすけ)

九州国際大学国際関係学部助教 第13章担当

主要業績 「国内におけるネットワーク NGO の役割と課題」(2006) 共著, 『国際農林業協力』28巻4-5号

大和裕美子 (やまと ゆみこ)

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程 第14章担当

主要業績 「トランスナショナルな『公共の記憶』とその『共有』——『長生炭鉱の“水非常”を歴史に刻む会』を事例に」(2009)『比較思想論輯』(比較思想学会福岡支部) 16号

佐々木拓雄 (ささき たくお)

久留米大学法学部准教授 第15章担当

主要業績 「戸惑いの時代と『イスラム現象』——大衆文化の観点からみたインドネシア・ムスリム社会の動向」(2004)『東南アジア研究』42巻2号